

科目区分	専門教育科目	授業科目名	スピーチコミュニケーション		科目コード	24L301	担当者	高柳 篤江			担当形態	単独	
対象学科・コース	生活創造学科 ビジネス・医療秘書コース	配当年次	1年次	開講学期	前期	単位数	2	必修・選択の別	必修	免許・資格要件	秘書士選択		
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目		該当	実務の経験内容及び科目との関連	元テレビ長崎、フリーアナウンサー、話し方教室講師の勤務経験あり。これらの経験をもとに、人前で話すことによって自信をつけ、また人間関係をスムーズに築く能力を養うための指導を行う								科目に含めることが必要な事項	

授業の主題	自分の考えを正確に伝え、相手の考えを理解することにより、社会生活や人間関係の支えとなるコミュニケーション能力を高める。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	スピーチ実技について毎回口頭でアドバイスを。レポートは毎回評価する。
授業の方法	テーマに沿って「準備する」「話す」、他の学生の発表を「聞き」「評価し合う」。	アクティブ・ラーニングの実施方法	

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	「スピーチコミュニケーション」の概要、自己紹介、第一印象の決め手	各授業で実践してみる。	第9回	スピーチの組み立て ふくらませる	日常の会話で実践してみる。	
第2回	好印象を得るには	普段の生活の中で、自分を客観的にみてる。	第10回	スピーチの組み立て 強調する	日常の会話で実践してみる。	
第3回	お辞儀、あいさつ	普段の生活の中で、周りを見てる。	第11回	とっさのスピーチ	単語を大事に、日常会話に生かしてみる。	
第4回	スピーチの組み立て 基本形①	自分がどのタイプか考えてみる。	第12回	集団討論 意見の述べ方、まわりとの調和	討論のポイントを復習する。	
第5回	スピーチの組み立て 基本形②	日常生活で試してみる。	第13回	プレゼンテーション 動作	自然に動けるよう練習する。	
第6回	わかりやすい伝え方 アサーティブ①	自分がどのタイプか考えてみる。改善点を探す。	第14回	プレゼンテーション 話法のまとめ	ポイントを自分のものにするよう練習する。	
第7回	わかりやすい伝え方 アサーティブ②	自分がどのタイプか考えてみる。実践してみる。	第15回	プレゼンテーション 実践	仕上げにむけ練習する。	
第8回	聞く力をつける	日常の会話で観察し、試してみる。			事前・事後学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	授業中に適宜資料を配布する。	受講生へのメッセージ	「言葉」は気持ちを届けます。「声」は人柄を表します。人前でのスピーチに慣れてくると「話し方」が変わり、あなたの印象も変わります。練習を重ねて、自信ある伝え方を身につけましょう。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

